

## 安全データシート

### 1. 製品及び会社情報

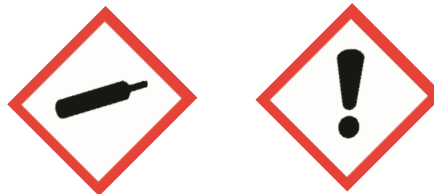
|              |                                   |
|--------------|-----------------------------------|
| 製品の名称        | TEK-CHECK                         |
| 製品コード        | LB703080                          |
| 会社名          | アサダ株式会社                           |
| 住所           | 愛知県名古屋市北区上飯田西町3-60                |
| 担当部門         | 営業本部                              |
| 電話番号         | 052-911-7165                      |
| FAX番号        | 052-914-2062                      |
| メールアドレス      | sales@asada.co.jp                 |
| 緊急連絡電話番号     | 052-911-7165（月曜日から金曜日の8:30～17:00） |
| 推奨用途及び使用上の制限 | リークディテクタ感度チェッカー                   |

### 2. 危険有害性の要約

|              |                    |           |
|--------------|--------------------|-----------|
| GHS分類        | 区分に該当しない、分類できないは省略 |           |
| 重要危険有害性及び影響  |                    |           |
| 悪影響が出る潜在的な特性 |                    |           |
| 物理化学的危険性     | 高圧ガス               | 低圧液化ガス    |
| 健康有害性        | 特定標的臓器毒性（単回ばく露）    | 区分3（麻酔作用） |

#### GHSラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語

警告

危険有害性情報

高圧ガス：熱すると爆発のおそれ（H280）  
眠気又はめまいのおそれ（H336）

注意書き

安全対策

粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。  
屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。

応急処置

吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で  
休息させること。

保管

気分が悪いときは医師に連絡すること。  
日光から遮断し、換気の良い場所で保管すること。  
換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。  
施錠して保管すること。

|                         |  |
|-------------------------|--|
| 廃棄                      | 内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。 |
| 特有の危険有害性                | 無し                                       |
| 他の危険有害性                 | 無し                                       |
| 重要な徴候及び<br>想定される非常事態の概要 | 無し                                       |

### 3. 組成及び成分情報

#### 化学物質・混合物の区別

|               |   |
|---------------|---|
| 化学名又は一般名      | 1, 1, 1, 2-テトラフルオロエタン                                 |
| 慣用名または別名      | フロン 1 3 4 a、(Fron-134a)、(HFC-134a)、(R-134a)           |
| 分子式 (分子量)     | C <sub>2</sub> H <sub>2</sub> F <sub>4</sub> (102.03) |
| 成分及び濃度又は濃度範囲  | 99%以上   |
| C A S 番号      | 811-97-2  |
| 官報公示整理番号(安衛法) | 2-(13)-48   |
| 官報公示整理番号(化審法) | (2)-3585  |
| GHS分類に寄与する成分  | データなし   |

### 4. 応急措置

|                           |  |
|---------------------------|--|
| 吸入した場合                    | 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。<br>気分が悪い時は、医師に連絡すること。  |
| 皮膚に付着した場合                 | ガスの接触では、障害を生じない。液に接触すると、凍傷のおそれがあるので、汚染された衣服、靴等を速やかに脱ぎ捨てる。<br>水と石鹼で洗うこと。<br>皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。 |
| 眼に入った場合                   | 水で数分間注意深く洗うこと。<br>眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当てを受けること。  |
| 飲み込んだ場合                   | 常温、常圧ではガスなので通常の使用において飲み込むことは考えられない。<br>口をすすぐこと。<br>気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。                            |
| 急性症状及び遅発性症状の<br>最も重要な徴候症状 | 吸入：めまい、し眠、感覚鈍麻。<br>皮膚：凍傷(液体に触れた場合)。<br>中枢神経系、心血管系に影響を与え、心臓障害を生じることがある。                                 |
| 応急措置をする者の保護に必要な<br>注意事項   | データなし  |
| 医師に対する特別な注意事項             | データなし  |

## 5. 火災時の措置

適切な消化剤

使ってはならない消化剤

火災時の特有の危険有害性

特有の消火方法

消火活動を行う者の特別な保護具  
及び予防措置

水噴霧、泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス、乾燥砂類  
棒状放水

火災時に刺激性、腐食性及び毒性のガスを発生するおそれがある。  
加熱により容器が爆発するおそれがある。

破裂したボンベが飛翔するおそれがある。

本物質は不燃性で着火しない。

危険でなければ火災区域から容器を移動する。

消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。

漏洩部や安全装置に直接水をかけてはいけない。凍るおそれがある。

損傷したボンベは専門家だけが取り扱う。

適切な空気呼吸器、防護服（耐熱性）を着用する。

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項

保護具及び緊急時措置

環境に対する注意事項

封じ込め及び浄化の方法及び機材

回収、中和などの浄化の方法及び機材

二次災害の防止策

作業者は適切な保護具（『8. ばく露防止措置及び保護措置』  
の項を参照）を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。

漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。

直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。

関係者以外の立入りを禁止する。

風上に留まる。

低地から離れる。

漏洩場所を換気する。

ガスが拡散するまでその区域を立入禁止とする。

環境中に放出してはならない。

危険でなければ漏れを止める。

可能ならば、漏洩している容器を回転させ、液体でなく気体が  
放出するようにする。

危険でなければ漏れを止める。

すべての発火源を速やかに取除く。

（近傍での喫煙、火花や火炎の禁止）

排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

住居地域及び工業地域の住民に直ちに警告し、危険地域から  
避難する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

取扱者のばく露防止  
 技術的対策  
 急所排気・全体換気

『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。

『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の局所排気、全体換気を行う。

安全取扱注意事項

取扱い後はよく手を洗うこと。

この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。

ガスの吸入を避けること。

屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。

接触回避

データなし

保管

安全な保管条件

特別に技術的対策は必要としない。

容器を密閉して冷乾所にて保存すること。

日光から遮断し、換気の良い場所で保管すること。

乾燥した場所に保管し湿気や水滴等による腐食を防止する。

施錠して保管すること。

(適切な保管条件及び避けるべき保管条件)

技術的対策

特別に技術的対策は必要としない。

混触禁止物質

データなし

安全な容器包装材料

データなし

(推奨材料及び不適切材料)

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度

未設定

許容濃度

日本産業衛生学会 (2012年度版)

未設定

AGCIH (2009年度版)

未設定 TLV-TWA

設備対策

この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。

作業場には全体換気装置、局所排気装置を設置すること。

保護具

呼吸用保護具

適切な呼吸器保護具を着用すること。

手の保護具

適切な保護手袋を着用すること。

眼の保護具

適切な眼の保護具を着用すること。

皮膚及び身体の保護具

適切な保護衣を着用すること。

衛生対策

取扱い後はよく手を洗うこと。

## 9. 物理的及び化学的性質

|                        |                  |
|------------------------|------------------|
| 物理状態                   | 気体               |
| 色                      | 無色               |
| 臭い                     | エーテル臭            |
| 融点/凝固点                 | 未測定              |
| 沸点又は初留点及び沸騰範囲          | -26℃             |
| 可燃性                    | データなし            |
| 爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界      | データなし            |
| 引火点                    | 不燃性ガス            |
| 自然発火点                  | データなし            |
| pH                     | データなし            |
| 動粘性率                   | 未測定              |
| 溶解度                    | 水：1.5g/L (25℃)   |
| n-オクタノール/水分配係数 (log 値) | 1.06             |
| 蒸気圧                    | 4275 mmHg (20℃)  |
| 比重 (密度)                | 1.21 (25℃)：液体として |
| 分解温度                   | データなし            |
| 粉じん爆発下限濃度              | データなし            |
| 最小発火エネルギー              | データなし            |
| 体積抵抗率(導電率)             | データなし            |
| 蒸発速度 (酢酸ブチル=1)         | データなし            |

## 10. 安定性及び反応性

|            |                                  |
|------------|----------------------------------|
| 化学的安定性     | 法規制に従った保管及び取扱においては安定と考えられる       |
| 危険有害反応可能性  | 高温面や炎に触れると分解して、有毒で腐食性のヒュームを生成する。 |
| 避けるべき条件    | 高温                               |
| 混触危険物質     | データなし                            |
| 危険有事な分解生成物 | 有毒で腐食性のヒューム                      |

## 11. 有害性情報

|                  |              |                 |
|------------------|--------------|-----------------|
| 急性毒性             | 経口           | データなし           |
|                  | 経皮           | データなし           |
|                  | 吸入 (ガス)      | 区分に該当しない。       |
|                  | 吸入 (蒸気)      | GHS定義におけるガスである。 |
|                  | 吸入 (粉じん、ミスト) | GHS定義におけるガスである。 |
| 皮膚腐食性/刺激性        |              | 区分に該当しない。       |
| 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 |              | 区分に該当しない。       |
| 呼吸器感作性又は皮膚感作性    |              | 呼吸器感作性：データなし    |

|                 |                 |
|-----------------|-----------------|
| 生殖細胞変異原性        | 区分に該当しない。       |
| 発がん性            | 区分に該当しない。       |
| 生殖毒性            | 区分に該当しない。       |
| 特定標的臓器毒性（単回ばく露） | 区分3（麻酔作用）       |
| 特定標的臓器毒性（反復ばく露） | 区分に該当しない。       |
| 誤えん有害性          | GHS定義におけるガスである。 |

## 12. 環境影響情報

### 生態毒性

|           |           |
|-----------|-----------|
| 水生環境急性有害性 | 区分に該当しない。 |
| 水生環境慢性有害性 | 区分に該当しない。 |

## 13. 廃棄上の注意

### 廃棄方法

#### 残余廃棄物

廃棄の前に、可能な限り無害化、安定化及び中和等の処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にする。

廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。

#### 汚染容器及び包装

容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。

空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

## 14. 輸送上の注意

### 国際規制

#### 海上規制情報

IMOの規定に従う。

#### 航空規制情報

ICAO・IATAの規定に従う。

#### 国連番号

3159

#### 品名

1, 1, 1, 2-TETRAFLUOROETHANE

#### 国連分類

2.2

### 国内規制

#### 陸上規制情報

高圧ガス保安法の規定に従う。

#### 海上規制情報

船舶安全法の規定に従う。

#### 航空規制情報

航空法の規定に従う。

#### 輸送又は輸送手段に関する

食品や飼料と一緒に輸送してはならない。

#### 特別の安全対策

輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

重量物を上積みしない。

#### 緊急時応急措置指針番号

126

15. 適用法令

|   |                                      |
|---|--------------------------------------|
| 特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律（化管法） | 該当しない                                |
| 労働安全衛生法                                 | 該当しない                                |
| 毒物及び劇物取締法                               | 該当しない                                |
| 消防法                                     | 該当しない                                |
| 化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律（化審法）              | 該当しない                                |
| 高圧ガス保安法                                 | 第2条                                  |
| 航空法                                     | 高圧ガス（施行規則第194条危険物告示別表第1）             |
| 船舶安全法                                   | 高圧ガス（危規則第3条危険物告示別表第1）                |
| 港則法                                     | 危険物・高圧ガス（法第21条2、則第12条、昭和54告示547別表二イ） |

16. その他の情報

記載内容は、現時点で入手した情報に基づいて作成していますが、記載データや評価に関してはいかなる保証をなすものではありません。

注意事項は、通常の手扱いを対象としたもので、特別な手扱いをする場合には用途、用法に適した安全対策を実施の上、手扱い願います。